

学校評価の結果について (令和5年度)

学校法人旭川カトリック学園 砂川天使幼稚園

1. 本園の教育目標

学校教育法に準じながら、教育の根底をキリストの教えにおき、カトリック的な人間観に基づき日々の生活の中で、真理を求め、人を愛することに喜びを感じる心を育てることにある。人格形成の最も大切な幼児期に <お祈り・親切・がまん> をモットーに、祈る心、愛する心、ありがとうの心が育つことを願い、幼児にふさわしい環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的としている

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

令和5年度も新型コロナウイルス感染拡大予防の影響はあるが、状況を見極めながら徐々に日々の保育や行事において可能な限り通常に近い保育を行うように努めていく。年々園児減少が進み今年度は70名を切ったスタートになるため今後の園児減少対策を早急に進めていくことが必須である。引き続き本園のカトリック教育の根本である心の教育を中心に「幼児期に育ってほしい10の姿」を目標として教職員一致した方向性で子ども達のより良い成長のための保育を高める。また、保護者との日頃の子どもに関わる連絡等を丁寧に行うようにし、共に子どもの成長のためにより一層信頼関係を深め、幼稚園と保護者が一体となって運営できるように進めていく。

3. 評価項目の達成及び取組み状況

評価項目・目標	取組み状況
1. 保育の計画性 保育内容及び指導の在り方等を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none">園の教育理念・教育目標の共通理解のもと、行事や保育のあり方など職員会議や学年ごとで話し合い保育計画を行っている。今後更に園児が主体的に関わる活動を深めていくようにする。毎日の報告会や週案を基に日々の反省と共に個々の子どもの様子をとりえ反省と共に次週への課題・ねらいとしている。
2. 保育の在り方、幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援その他の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none">園舎内外の安全には十分留意し今年度は大木4本の高所枝を切った。また年数の経っている園庭遊具の安全確認には注意し職員全員で状況把握し危険が及ばぬよう配慮している。また、引き続き感染対策として遊具・保育室等の消毒や空気清浄機を設置し感染対策に努めている。職員全員が共通理解のもと園児ひとり一人の様子を把握し、教師間連絡を密にし担任以外の園児にも愛情をもって対応している。子育て支援の親子登園「ひよこルーム」をインスタ等で紹介しより多くの参加者を募るよう努めている。
3. 保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等資質向上を図る。	<ul style="list-style-type: none">組織の一員として自分の思いを伝えると共に他の教職員の意見を聞き、職員全員が一つのチームであることを自覚している。保育者としての意識と自覚と責任をもった言動で園児や保護者に接すると共に、子どもの心を大切に話をよく聞き、園児一人一人との信頼関係を築き園児の成長に繋げている。
4. 保護者への対応及び家庭との連携 園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応を図る。	<ul style="list-style-type: none">子どもの変化の様子や個人的な相談や連絡にも電話や手紙等での日に対応するようにし信頼関係を築くようにしている。保護者からの相談や要望には職員会議等で提示し話し合いのもと真摯に対応し保護者のニーズを把握し可能なことは要望に応じるよう心掛けているが、今後更に保護者の様々な要望について考慮し精査していく必要がある。今年度より父母の会活動を廃止したため、保護者との関りを丁寧にするを重要視とする。
5. 地域社会との連携 地域の自然や社会との関わり及び小学校との連携を図り、地域解放の努力をする。	<ul style="list-style-type: none">例年行っている年中長児の老人ホーム慰問は一部復活し関わりを持つことができ、また砂小5年生との交流は昨年同様楽しく触れ合うことができた。小学校生活がスムーズになるように進学児の引き継ぎは各小学校と行っている。

<p>6. 研修と研究 研修・研究を積極的にを行い、専門性を高め、努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カトリック学園・北私幼の一定の研修会、またキャリアアップのため保育の専門性を深めるため研修会は出来るだけリモート等で参加している。 ・職員間、研修内容を分かち合い園内研修の充実を図っていく。
<p>7. 情報公開 保育の現状等や自己点検・評価の結果等を個人情報の保護に留意しつつ、積極的に園便り等で公開する努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園だより、クラスだより、地方新聞掲載、またインスタグラム配信を多くし保護者に園内活動をお知らせしている。また、学校評価結果においてもホームページ、園内閲覧で公表している。引き続き本園の特徴、良さ、教育目標の理解を深めていただき、社会情勢を考慮しつつ情報公開に努め、地域に根ざした幼稚園づくりに努める。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> ・毎年の自己評価、学校関係書評価通し、個々の改善点を認識し次年度に向けての課題として引き続き取り組んでいる。園の教育方針や園児に対する関わりなどはおおむね達成できているが、今年度も地域との関わりや特別支援に関する取り組みについて不十分で、今後計画を具体化し積極的に行う必要がある。 ・変化していく社会情勢の中で、幼稚園として求められていることを常に考慮しつつ、幼児期の成長にカトリック幼稚園の良さを保護者に伝え理解を得ながら、時代に合った新しい事も段階を経ながら取り入れ地域に必要な幼稚園であるように努めていく。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法
<p>安全管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急災害時の具体的な対策 ・防災用具の常備 	<ul style="list-style-type: none"> ・例年毎月火災地震避難訓練を行い園児達に災害等に対応できる知識と行動について認識させ身につけているが、今後さらに様々な状況でも園児確認や避難場所、保護者への通達方法を明確にしていく。今年度実施できなかった ICT を活用した園児出欠確認等の安全対策について実施に向けて進めていく。 ・災害時の水・食料等常備について今年度も出来なかったので引き続き課題としていく。
<p>地域社会との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校との連携 ・子育て支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、砂川市が令和8年度から義務教育学校に移行することを踏まえ、小学校との連携がとれるよう具体的な方法を話し合い各小学校へも理解を求めていく。また、入園前の未就園児や保護者に対しての子育て支援（ひよこルーム、園庭開放等）について、インスタやホームページを通じてより機能的・開放的になるようなあり方を考慮しまた入園に繋がるように教職員間で話し合い共通理解を深める。 ・子育て支援として、子どもだけではなく保護者が気軽に相談できる場としての幼稚園であるように努める。
<p>教員の研修と園内研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・質の高い保育を目指しそれぞれ必要な研修を重ねキャリアアップを引き続き行っていく。また、得た研修内容を園内研修を通じ共通理解しそれぞれの保育の場に活かせるよう自己研鑽に努めていく。また保護者の気持ちに寄り添い連絡を取りながら、幼稚園や教職員を信頼してもらえるように保育者としての資質と技術の向上を目指していく。

6. 学校関係者の評価

<p>今年度より父母の会廃止のため保護者全員に学校評価アンケートをお願いした。本園は砂川市唯一の幼稚園ということで入園する機会が多いが他の市町（二市四町）からの入園もあることから、多くの方に当幼稚園の根底である心の教育「キリスト教精神に基づいた教育」を中心においた保育に理解と協力を得ることができた。しかし、保育内容、保育参観、安全管理、教職員体制など様々なことに意見や要望、感想があり改めて改善していかなければならない事にも目を向けることができ、今後の課題として考慮していく必要がある。</p> <p>今後も保護者が安心して子どもを預けられる幼稚園として真摯に話をし、今後改善できることと理解していただくことを精査し共に理解し協力することで、子どもたちのより良い成長へと繋がる幼稚園であるように努めていく。</p>
--

7. 財務状況

<p>大手監査法人である太陽 ASG 有限責任監査法人（東京）の監査を受け、適正に運営されていると認められている。また、法人本部の財務状況報告により効率的な運営に努めている。</p>
